

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成28年2月2日(火) 11:00～11:50

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス事務局棟4階)

発表事項

1. 山形初の本格的な「ナスカの地上絵」展を開催します
2. X線天文衛星ASTRO-Hの打ち上げとパブリックビューイング
3. H C J 2016 国際ホテル・レストラン・ショーへ出展します
4. 純米大吟醸酒「山形大学燦樹(きらめき)2016」発売
5. 山形大学特別イベント「藤沢周平の江戸・東京」を開催します
6. 平成27年度 山形大学卒業制作展
7. 山形大学はF1ドライバーを目指す学生を応援しています

お知らせ

1. やまがた地域社会研究所による地方創生セミナーの開催について
2. 講演会「恋する人文学」の開催について
3. 山形大学認定「産学金連携コーディネーター」認定証授与式を行います

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時:平成28年2月16日(火)11:00～11:45

場 所:事務局第二会議室(小白川キャンパス事務局棟4階)

学長定例記者会見（2月2日）発表者

1. 山形初の本格的な「ナスカの地上絵」展を開催します

学術研究院 さかい まさと 教授
坂井 正人
学術研究院 さとう こと 講師
佐藤 琴

2. X線天文衛星ASTRO-Hの打ち上げとパブリックビューイング

学術研究院 なかもり たけし 准教授
中森 健之

3. HCJ2016 国際ホテル・レストラン・ショーへ出展します

理工学研究科 こだま まい 研究支援者
小玉 麻衣

4. 純米大吟醸酒「山形大学 燦樹（きらめき）2016」発売

鯉川酒造 さとう かずよし 社長
佐藤 一良
山形大学生生活協同組合 あべ よしはる 専務理事
安部 芳晴
農学部フィールド科学センター さくま たくや 技術専門職員
佐久間 拓也

5. 山形大学特別イベント「藤沢周平の江戸・東京」を開催します

学術研究院 やまもと はるふみ 教授
山本 陽史

6. 平成27年度 山形大学卒業制作展

地域教育文化学部4年 すわべ かい さん （卒業制作展学生広報担当）
諏訪部 海
地域教育文化学部4年 おかだ りな さん （卒業制作展学生広報担当）
岡田 莉奈

7. 山形大学はF1ドライバーを目指す学生を応援しています

工学部2年 おおたき たくや さん
大滝 拓也

平成28年2月2日
山形大学

山形初の本格的な「ナスカの地上絵」展を開催します

平成27年度文翔館企画展 ナスカの地上絵

～山形大学人文学部附属ナスカ研究所の成果から～

会期：平成28年2月14日(日)～3月13日(日)

山形大学人文学部附属ナスカ研究所の研究成果を文翔館で一挙公開します。地上絵を空から臨場感たっぷりに眺められる映像コーナーや3Dプリンターで制作した地上絵模型を触れるコーナーもあります。誰によって、いつ、なぜ、どうやって、何のために作られたのか？誰もが地上絵に対して抱く疑問にあらゆる角度から迫ります。

◇会期 平成28年2月14日(日)～3月13日(日) 【休館日：2月15日(月)、3月7日(月)】

◇時間 9:00～16:30

◇会場 文翔館3階ギャラリー **入場無料**

◇主催 (公財)山形県生涯学習文化財団・山形大学人文学部附属ナスカ研究所

◇関連行事

・オープニングセレモニー

日時 平成28年2月14日(日) 10:00～ 会場 ギャラリー3

・講演会

① 平成28年2月14日(日) 13:30～15:00

「認知心理学からみたナスカの地上絵」

講師：渡邊洋一

(学術研究院(人文学部担当)教授)

② 平成28年3月6日(日) 10:00～12:00

「最近のナスカ研究の動向」

講師：坂井正人

(学術研究院(人文学部担当)教授)

「ペルー南海岸ナスカおよびイカ地方の考古学的秘宝」

講師：ケヴィン・ボーン(カリフォルニア大学教授)【日本語通訳有】

会場 文翔館議場ホール **参加無料・申込不要**

・人文学部学生等による展示説明

会期中の毎週土曜日、日曜日 10:30～／13:30～／15:00～

※2月14日(日)午前、午後と3月6日(日)午前は実施しません

(お問合せ先)

・山形県郷土館「文翔館」 折原・笹原

電話番号：023-635-5500

990-0047 山形市旅籠町3-4-51

・山形大学学術研究院(人文学部担当)

教授 坂井正人

電話番号：023-628-4785

ナスカの地上絵

～山形大学人文学部附属ナスカ研究所の成果から～

ナスカの地上絵は
誰によって
いつ なぜ どうやって
何のために



会期

平成28年 2月14日(日)～3月13日(日)

休館日 2月15日(月)・3月7日(月)

時間 9:00～16:30

会場 文翔館 3階ギャラリー

講演会

平成28年 2月14日(日) 時間: 13:30～15:00

「認知心理学からみたナスカの地上絵」

講師: 渡邊 洋一 (山形大学人文学部教授)

平成28年 3月6日(日) 時間: 10:00～12:00

「最近のナスカ研究の動向」

講師: 坂井 正人 (山形大学人文学部教授)

「ペルー南海岸ナスカおよびイカ地方の考古学的秘宝」

講師: ケヴィン・ボーン (カリフォルニア大学教授)

"Archaeological Treasures of Nasca and Ica, South Coast of Peru" Kevin Vaughn

日本語の通訳あり

場所 文翔館議場ホール(両日とも)

参加無料 申込不要

オープニング セレモニー

平成28年 2月14日(日)

時間 10:00～

会場 ギャラリー3

セレモニー終了後、山形大学人文学部坂井正人教授によるギャラリートークがあります

展示説明

山形大学人文学部学生等による展示物の説明

会期中の毎週土曜日、日曜日 10:30～/13:30～/15:00～

※2月14日(日)の午前、午後と3月6日(日)の午前は実施しません

主催 (公財)山形県生涯学習文化財団、山形大学人文学部附属ナスカ研究所

後援 在日ペルー大使館



協力: 古代アメリカ学会・日本学術振興会科研費「古代アメリカの比較文明論」(代表 青山和夫)・凸版印刷株式会社・山形大学附属博物館
お問い合わせ: 山形県郷土館「文翔館」 〒990-0047 山形県山形市旅籠町3-4-51 TEL 023-635-5500



平成28年2月 2日
山形大学

X線天文衛星ASTRO-Hの打ち上げとパブリックビューイング

JAXAが2016年2月12日に打ち上げ予定のX線天文衛星「ASTRO-H」に、本学からも研究者が参加し装置開発に貢献してきました。NPO法人・小さな天文学者の会が打ち上げ中継のパブリックビューイングを主催し、本学研究者も同席します。

ASTRO-H衛星と本学の関わり

これまでに各種報道などで伝えられているとおり、宇宙航空研究開発機構（JAXA）主導による日米欧の国際協力で開発されたX線天文衛星「ASTRO-H」が、種子島宇宙センターからH2Aロケット30号機で打ち上げられます。現在の打ち上げ予定日は2016年2月12日です。

ASTRO-Hは日本で6番目のX線天文衛星で、全長14 m（観測時）、重量2.7トンという、日本の科学衛星では過去最大となる大型の衛星です。ASTRO-Hには4種類のX線・ガンマ線観測装置が搭載されます。本学の中森健之准教授は、そのうちの2つである「硬X線撮像装置(HXI)」と「軟ガンマ線検出器(SGD)」の開発に貢献してきました。ASTRO-Hはブラックホールや超新星爆発の残骸などの激しく活動する宇宙の姿を、さまざまな切り口から明らかにします。そして個々の天体现象の詳細な分析のみならず、宇宙の進化の解明にも挑みます。

打ち上げ中継のパブリックビューイング

NPO法人小さな天文学者の会では、JAXAによって配信される打ち上げ当日のインターネット生中継のパブリックビューイングを開催します。当日は中森准教授も同席する予定で、適宜解説を行ったり質問を受け付けたり致します。奮ってご参加ください。

日時：2016年2月12日 17：00開場（人数制限を設けることがあります）
中継予定時間 17：25－18：10（打ち上げ準備状況により変わります）
場所 山形大学理学部インフォメーションセンター
主催 NPO法人小さな天文学者の会
共催 宇宙物理学研究ユニット「やまがた天文台」

（お問合せ先）

学術研究院（理学部主担当）准教授 中森健之

電話023-628-4633 Mail: nakamori@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

NPO法人小さな天文学者の会（本イベント担当）

Mail: astro-jim@sola.or.jp

X線天文衛星 ASTRO-H

H-IIA ロケット30号機

打ち上げライブ中継

パブリックビューイング

2月12日(金) 17:00開場

◆場所 山形大学理学部

インフォメーションセンター

※駐車場はありますが台数に制限があります

参加無料

◆中継予定時間 17:25-18:10

(打ち上げ時刻が変更される場合があります)

打ち上げ日が変わった場合、当イベントは中止になります)

◆問い合わせ先

山形県山形市小白川町 1-4-12 山形大学理学部内

インフォメーションセンター

電話: 023-628-4050 (月-金 9:00-17:00)

Eメール: astro-jim@ksirius.kj.yamagata-u.ac.jp

ASTRO-Hの観測機器開発に携わった
中森健之先生(山形大学 理学部)の
生解説もあります!お楽しみに!!!



画像/上:ASTRO-H衛星の完成予想図 (C)池下章裕 下:H-IIAロケット29号機打ち上げ(C)JAXA

山形大学
YAMAGATA UNIVERSITY

SCITA
Faculty of Science,
Yamagata University



小さな天文学者の会

主催 NPO法人小さな天文学者の会
共催 やまがた天文台

<http://astr-www.kj.yamagata-u.ac.jp/yao/>



平成28年2月2日

山形大学

HCJ2016 国際ホテル・レストラン・ショーへ出展します

米沢の食材や形、山形大学の技術を活用した新しい食品の開発を進めている「米沢いただきます研究会」は、今年度開発した「3D米沢牛ほかほかゼリー」を2月16日—19日に東京ビッグサイトで開催されるHCJ2016 国際ホテル・レストラン・ショーに出展します。

【HCJ2016 国際ホテル・レストラン・ショー(外食・宿泊・レジャー業界に向けた商談専門展)】

会期:2016年2月16日(火)–19日(金) 10:00–17:00(最終日は16:30まで)

会場:東京ビッグサイト 東展示棟

出展団体:米沢市雇用創造推進協議会・米沢新産業創出協議会「米沢いただきます研究会」

協力:山形大学 古川研究室、山形大学ライフ・3Dプリンタ創成センター

【米沢いただきます研究会】

米沢いただきます研究会は地域食材と山形大学の技術を融合させた新食品を研究・開発し、地域経済を活性化することを目的として2014年4月に発足しました。地元の飲食店や企業、山形大学工学部の学生を中心に構成され、それぞれが持つアイデアや知識を出し合って新食品開発に取り組んでいます。

これまでにドラマチック戎市(2014)、産業まつり(2015)など地域のお祭りでの出店、ビジネスマッチ東北2014、ビジネスマッチ東北2015、HCJ2015 国際ホテル・レストラン・ショー(2015)に出展しています。

この度は「3D米沢牛ほかほかゼリー」をHCJ2016 国際ホテル・レストラン・ショーに出展します。

【3D米沢牛ほかほかゼリー】

銘柄牛である米沢牛のすねひき肉から作るコンソメスープを、山形大学工学部の3Dプリンター技術を活用して米沢らしい形のゼリーにしました。凝固剤に寒天を使っているため温めても溶けにくく、ゼリーなのに温かいという意外性が面白い食品になっています。

コンソメスープは地元飲食店イタリアンレストランリーガル白田静雄さんに製作を依頼しました。昆布や椎茸といった和風の出汁と米沢牛を使用した黄金のスープに仕上がっています。

米沢らしい形として雪灯籠、お鷹ぼっぼ、牛などを考えており、いずれも3Dプリンターで型を造形しています。

3D米沢牛ほかほかゼリーはイタリアンレストランリーガルにて、春頃から販売予定です。



雪灯籠型の3D米沢牛ほかほかゼリー



調理例

(お問い合わせ)

山形大学 古川研究室(担当:小玉)

TEL:0238-26-3197

米沢市雇用創造推進協議会(担当:貝沼)TEL:0238-28-0176

【ドラマチック戒市】



タブレットに書いてもらった絵を 3D 食品プリンターE-Chef でミルクせんべいに印刷してプレゼントしました。子供たちに大人気でした。



【ビジネスマッチ東北 2014、HCJ2015 国際ホテル・レストラン・ショー】



「3D 恋鯉ゼリー」を出展しました。米沢の名産品の一つである鯉の鯉節から出汁を取り、味噌、寒天、ゼラチンを混ぜ合わせ、3D プリンターを活用して作った型に入れ、固めました。熱湯をかけると溶けてお味噌汁になり、中からハート形の蒟蒻が出てきます。

【鯉の収穫祭での 3D 恋鯉なべ】



「3D 恋鯉なべ」は、米沢鯉の料理店、鯉の六十里で豆乳鍋として商品化されています。

【産業まつり、ビジネスマッチ東北 2015】



「3D ホットと愛す」を出展しました。温めると固まり、冷めると溶ける不思議なアイスです。ウコギパウダーやみそリンゴ味のソースなど米沢の食材を使ったソースをかけていただきます。

平成28年 2月 2日
山形大学

純米大吟醸酒「山形大学 燦樹（きらめき）2016」発売

山形大学オリジナル純米大吟醸酒『山形大学 燦樹（きらめき）2016』を2月1日（月）から販売しています。

1. 純米大吟醸酒「山形大学 燦樹（きらめき）2016」

生酒及び熱処理した火入酒の2種類を、2月1日（月）から同時販売開始しました。帰省や出張の際のお土産品として、本学学生及び教職員はもとより、地域の方々にもご利用いただき、山形大学の好感度アップにつなげたいと考えています。

2. 原料米は附属農場産出羽燦々100% 使用

原料米には、農学部附属やまがたフィールド科学センターエコ農業部門（高坂農場）で栽培された酒造好適米「出羽燦々」を100%使用しています。

山形大学 燦樹（きらめき）2011より、特別栽培の認証を受け慣行より50%以下の農薬・化学肥料で栽培しています。

醸造は、昨年と同じ庄内町余目の鯉川酒造に依頼しました。

※参考： 2007・2008：鶴岡市羽黒 竹の露合資会社
2009・2010：鶴岡市大山 株式会社渡會本店
2011～2016：庄内町余目 鯉川酒造株式会社

3. 販売数量・価格等

醸造本数は、720ml瓶で生酒を900本、熱処理した火入酒を1,050本の合計1,950本程度となる見通しです。

価格は、720ml瓶入り生酒及び火入酒共に1本1,750円です。

小白川・飯田・米沢・鶴岡の各キャンパス内にある山形大学生協の店舗のほか、同組合のホームページからも通信販売にて購入することができます。

4. 売上の一部は学生への支援として活用

今年は、約340万円分の販売が予定され、完売した場合には約23万円が「山形大学学生支援基金」に寄付され、学生への支援として活用されます。

（お問い合わせ）

山形大学農学部企画広報室

電話：0235（28）2803

山形大学生協同組合 理事会室

電話：023（641）4380

プレス発表資料

平成28年2月2日
山形大学

山形大学特別イベント「藤沢周平の江戸・東京」を開催します

山形大学地域教育文化学部の前身の山形師範学校を卒業した作家藤沢周平の作品の舞台となった江戸の面影残る東京で、江戸文学・藤沢文学の研究者の案内による町歩きと落語口演、対談を実施します。

◇日時：平成28年3月4日（金）13時～16時30分

【第一部】両国町歩き ～江戸文学と藤沢周平文学の舞台を探訪～

山本陽史（やまもとはるふみ）教授をナビゲーターに藤沢作品『用心棒日月抄』、『彫師伊之助捕物覚えシリーズ』等の舞台となった両国を歩き、藤沢文学の世界と今も残る江戸の名残を探訪します（歩行距離約2km）。

【第二部】桂 伸治 師匠 落語口演

対談「生きている江戸」 桂伸治師匠 × 山形大学 山本陽史教授

◇募集定員：第一部40名・第二部60名（先着順）

◇参加費：300円（保険料等）

◇受付開始：2月8日（月）10時から

※詳細は別紙チラシをご覧ください。

（お問い合わせ）

総務部総務課広報室

樋口 菅井 黄木

電話：023-628-4010

Mail：koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

藤沢周平の江戸・東京

山形大学地域教育文化学部の前身の山形師範学校を卒業した作家藤沢周平の作品の舞台となった江戸の面影残る東京で、江戸文学・藤沢文学の研究者の案内による町歩きと落語口演、対談を実施します。

平成28年3月4日(金) 13時～16時30分

第一部 両国町歩き ～ 江戸文学と藤沢周平文学の舞台を探訪 ～

山本 陽史(やまもと はるふみ)教授をナビゲーターに藤沢作品『用心棒日月抄』、『彫師伊之助捕物覚えシリーズ』等の舞台となった、両国を歩き、藤沢文学の世界と今も残る江戸の名残を探訪します。(歩行距離約2km)

- 開催時間 13時～14時45分 ※荒天時にはコース変更、中止にする場合があります
- 集合場所 江戸東京博物館 会議室(東京都墨田区横網1-4-1)12時50分集合
- ナビゲーター 山形大学 教授 山本 陽史
- 予定コース 両国橋東詰～回向院(鼠小僧次郎吉の墓・相撲興行の地)～吉良上野介邸跡～豎川(江戸落語中興の祖立川(烏亭)焉馬ゆかりの川)～江戸東京博物館

第二部 桂 伸治師匠 落語口演 対談「生きている江戸」桂 伸治師匠×山形大学 山本 陽史教授

- 開催時間 15時～16時30分
- 会場 江戸東京博物館 会議室



桂 伸治
(かつら しんじ)
東京都生まれ

1974年 4月 二代目桂伸治に入門
前座名は桂平治
1979年 4月 平治のまま二ツ目昇進
1989年 4月 真打ち昇進
同時に三代目桂伸治を襲名



山本 陽史
(やまもと はるふみ)
和歌山県生まれ

山形大学 教授(基盤教育担当)
専門は日本文学
近世日本文学者
小説家藤沢周平の研究者

<交通案内>

- ①JR総武線両国駅 西口下車徒歩3分
- ②都営大江戸線両国駅A3・A4出口徒歩1分
- ③都バス隅38系統、門33系統、錦27系統、横網1丁目下車



会場(江戸東京博物館)へのお問い合わせはご遠慮ください。

- 募集定員: 第一部 40名・第二部 60名 先着順
- 参加費: 300円(保険料等)
(第一部参加者のみ当日現金でいただきます。第二部のみ参加の場合は無料。)
- 受付開始: **2月8日(月)10時から**
※受付開始日時前の申込は無効となりますのでご注意ください。お申し込み方法は、裏面申込書をご覧ください。



お問い合わせ
山形大学総務部広報室
電話:023-628-4010 FAX:023-628-4013
E-mail:koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

〈申込先〉 山形大学総務部広報室

FAX:023-628-4013 E-mail:koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

「藤沢周平の江戸・東京」申込書

お申し込みの際は、以下に必要事項をご記入の上、ファックスをお送りいただくか、以下の情報を入力してE-mailをお送りください。

なお、受付開始は**平成28年2月8日（月）午前10時**です。それ**以前**のお申し込みは**無効**となりますのでご注意ください。

ふりがな お名前 (生年月日)	(年 月 日生)	性別
		男・女
ご住所	〒 -	
連絡先電話番号	ご自宅： - -	
	携帯電話： - -	
Eメール	@	
参加方法 希望に○をつけてください	※一部にご参加の方は、そのまま二部もご聴講ください 一部及び二部 ・ 二部のみ	
山形大学からの連絡方法 希望に○をつけてください	郵送 ・ ご自宅電話 ・ 携帯電話 ・ Eメール	

※ 連絡方法にEメールをご希望の場合で携帯電話のアドレスを記載された方は、koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jpからのメールを受信できるように設定しておいてください。

※ 今回記載していただいた個人情報は、この催しに関する事務処理のみに使用いたします。

※ 町歩きは、安全な道・場所を引率者が配慮の上ご案内いたしますが、参加は自己の責任でお願いいたします。
(仮に自己の責任に基づく事故・怪我があった場合、主催者側は責任を負いかねます。)

平成28年2月2日
山形大学

平成27年度 山形大学 卒業制作展

地域教育文化学部 造形芸術コースの学生が卒業制作展を開催致します。

◇山形展

開催日時：2016年2月3日(水)～2月7日(日)
10:00～17:00(最終日のみ15:00まで)
会場：山形美術館 2階第3展示室
(山形市大手町1-63) **入場無料**
ギャラリートーク：2月6日(土)13:00～

◇サテライト展

(この展覧会は、愛媛大学との合同展覧会です)
開催日時：2016年3月4日(金)～3月7日(月)
9:00～17:45
(初日15:00から、最終日12:00まで)
会場：キャンパス・イノベーションセンター
(東京都港区芝浦3-3-6
山形大学東京サテライト) **入場無料**



◇趣旨

今回の展覧会では絵画、デザイン、工芸、彫刻など様々な分野から個性豊かな作品を展示しています。

私達は日々、様々な分野で自らの手を動かし研究と作品制作に励んできました。どの分野においても作品は全て人の手から生み出されます。学生生活の中で培ってきた知識や技術、経験や考え方は一人ひとり異なります。それが個性となり、作品が自分自身の集大成となって表現されます。

この卒業制作展はそんな多種多様な卒業生がそれぞれの手から生み出された展覧会となっております。それぞれの作品に込められた思いを感じ取っていただければ幸いです。

(お問合せ先)

[地域教育文化学部事務室]

電話：023-628-4305

[学生広報担当 諏訪部海・岡田莉奈]

E-mail: yamadai.sotsuten@gmail.com



山形大学 造形芸術コース 卒業制作展 2016

2016年2月3日(水)～2月7日(日)

10:00～17:00(最終日のみ15:00まで)

山形美術館2階第3展示室 入場無料

ギャラリートーク2月6日(土)13:00～

造形芸術コース卒業制作展

2016年2月3日(水)～2月7日(日)

10:00～17:00(最終日のみ15:00まで)

山形美術館 2階 第3展示室 **入場無料**

ギャラリートーク 2月6日(土)13:00～

山形美術館

〒990-0046 山形県山形市大手町1-63

TEL:023-622-3090 FAX:023-622-3145

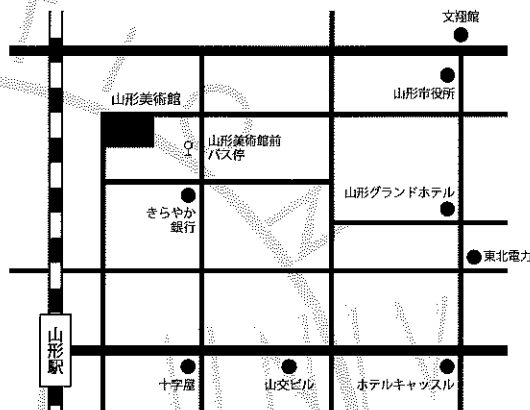
【アクセス】

JR山形駅(東口)より徒歩15分

山形自動車道「山形蔵王IC」より車で約15分

※山形美術館北側に無料駐車場がございます

※美術館前の山形市大手町駐車場は有料です



愛媛大学 × 山形大学
合同東京展も開催!

愛媛大学教育学部芸術文化課程造形芸術コース／

山形大学地域教育文化学部地域教育文化学科造形芸術コース

『第6回卒業合同美術展覧会』

2016年3月4日(金)～3月7日(月)

9:00～17:45(初日15:00～/最終日12:00まで)

会場:キャンパス・イノベーションセンター

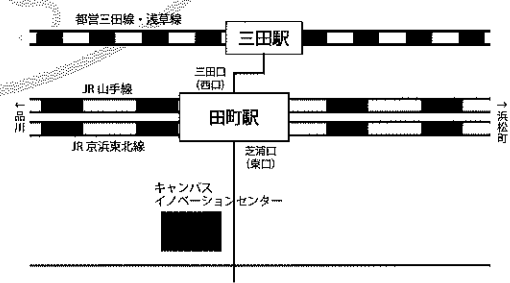
〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6

TEL/FAX:03-5440-9071(山形大学東京サテライト)

【アクセス】

JR山手線・京浜東北線 田町駅芝浦口より徒歩1分

都営地下鉄浅草線・三田線 三田駅より徒歩5分



【問い合わせ】〒990-8560 山形県山形市小白川町1-4-12

山形大学 地域教育文化学部 地域教育文化学科 造形芸術コース

【E-mail】yamadai.sotsuten@gmail.com 【Twitter】@Yamadai_Zokei

【HP】http://zoukei.wix.com/yamadai



詳しくはこちら→

山形大学はF1ドライバーを目指す学生を応援しています

本学工学部物質化学工学科2年の^{おおたきたくや}大滝拓也さんが、学業の傍らF1ドライバーを目指しています（所属チーム：FIRST Racing / SRS-Formula / Kochira Racing）。

山形市出身の大滝さんは、中学2年でレーシングカートを始めると瞬く間に才能を開花。昨年は毎年2名のみ選出されるスカラシップ選考会（自動車メーカーホンダのドライバー育成システムの一員としてFIA-F4にホンダのサポートを受け参戦する資格を獲得するための選考会）進出者に選抜されました。

1月27日に学長室を訪問した大滝さんは持参の資料でこれまでの活動を報告。小山学長からは学業との両立についてのアドバイスと応援メッセージが送られました。これに対し大滝さんは、「これまでは順調に成績を残すことができました。“5年後にはF1”の目標がありますので応援よろしくお願いします」と述べました。



小山学長に活動報告する大滝さん（左）



小山学長と握手する大滝さん（左）

大滝さんの活動実績は別添資料をご覧ください。
みなさま、是非応援してください。

（お問い合わせ）

総務部総務課広報室 樋口

電話：023-628-4008

Mail：koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

～目指すは日本人初 F1 チャンピオン～

いざ FIA-F4 の舞台へ!!!



レーシングドライバー
大滝 拓也

[TEL:090-6626-8815]
[〒990-0811 山形県山形市長町 722-31]

プロフィール

オオタキ タクヤ
大滝 拓也

平成7年10月11日生まれ(満 20 歳)

所属チーム: FIRST Racing/SRS-Formula/Kochira Racing

学歴

2009年 3月	山形市立千歳小学校	卒業
2011年 3月	山形市立第四中学校	卒業
2014年 3月	山形県立山形工業高校 環境システム科	卒業
2015年 5月	山形大学 工学部 物質化学工学科	在学中

経歴

2009年 6月	スポーツランド SUGO にてレンタルカートに乗る。	
2009年 11月	中学2年 レーシングカートを始める。	
2010年	SS クラス (空冷 100 cc)	SUGO
2011年	MAX クラス (水冷 125 cc)	SUGO
2011年 10月	2011MAX Festival SeniorMAX クラス	カートソレイユ最上川 ツインリンクもてぎ
2012年	MAX クラス (水冷 125 cc)	SUGO
2012年 10月	2012MAX Festival SeniorMAX クラス	新東京サーキット 新東京サーキット
2013年	SRS-F MAX クラス	体験スクール SUGO シリーズ
2014年	SRS-F MAX クラス	体験スクール・ベーシック SUGO シリーズ
2015年 1~3月	SRS-F	体験スクール・ベーシック
2015年 4~6月	SRS-F	アドバンス
2015年 9~11月	SRS-F	スカラシップ選考会進出

戦歴

- 2011 年
- ・カートソレイユ最上川 MAX クラス
シリーズチャンピオン
(Rd.1:2 位, Rd.2:3 位, Rd.3:失格, Rd.4:優勝, Rd.5:優勝)
 - ・SUGO MAX クラス
シリーズ 2 位
(Rd.1:13 位, Rd.2:3 位, Rd.3:優勝, Rd.4:3 位)
 - ・MAX Festival ツインリンクもてぎ
SeniorMAX クラス
ファイナル進出
(TT:Pos.25, PreFinal:25 位, Final:30 位)
- 2012 年
- ・カートソレイユ最上川 MAX クラス スポット参戦
(Rd.2:優勝)
 - ・SUGO MAX クラス
シリーズチャンピオン
(Rd.1:優勝, Rd.2:2 位, Rd.3:2 位, Rd.4:2 位, Rd.5:2 位)
 - ・MAX Festival 新東京サーキット
SeniorMAX クラス
ファイナル 19 位
(TT:Pos.25, PreFinal:19 位, Final:19 位)
- 2013 年
- ・SUGO MAX クラス
シリーズ 2 位
(Rd.1:2 位, Rd.2:優勝, Rd.3:2 位, Rd.4:優勝)
- 2014 年
- ・SUGO MAX クラス スポット参戦
(Rd.1:優勝)
 - ・3 時間耐久レース SS クラス 優勝
- 2015 年 2 月
- ・SRS-F アドバンス進出者 8 名に選出
- 6 月
- ・SRS-F スカラシップ候補者 5 名に選出
- 11 月
- ・SRS-F 速さを認められ特例で三人目に選出



私は日本人初の F1 チャンピオンを目指しております。

ホンダのバックアップの下、2016 年度の FIA-F4 への参戦権が与えられ、現在、国公立大学山形大学 2 年生で、学業と両立し、レース活動を行っています。



中学 3 年生（2010 年）にレーシングカートを始めました。他のドライバーは、4 歳や 5 歳の幼少の頃からレーシングカートをやっている中で、たった 1 年で優勝を果たし、私が出ている MAX クラスの全国大会の位置づけである MAX Festival でも初参戦ながらも東北出身ドライバー唯一の決勝進出を果たすなど、異例の結果を残す事が出来ました。

翌年の 2011 年には、SUGO の MAX クラスで、世界大会に 3 年連続で進出したドライバーがシリーズ参戦する中、直接対決で私がシリーズチャンピオンを獲得しました。その年も 2 年連続となる、MAX FESTIVAL 東北出身ドライバー唯一の決勝進出を果たし東北の旗を背負って戦うことが出来ました。

このころから、F1 の道を本格的に目指す為、フォーミュラカテゴリーへのステップアップを考えました。





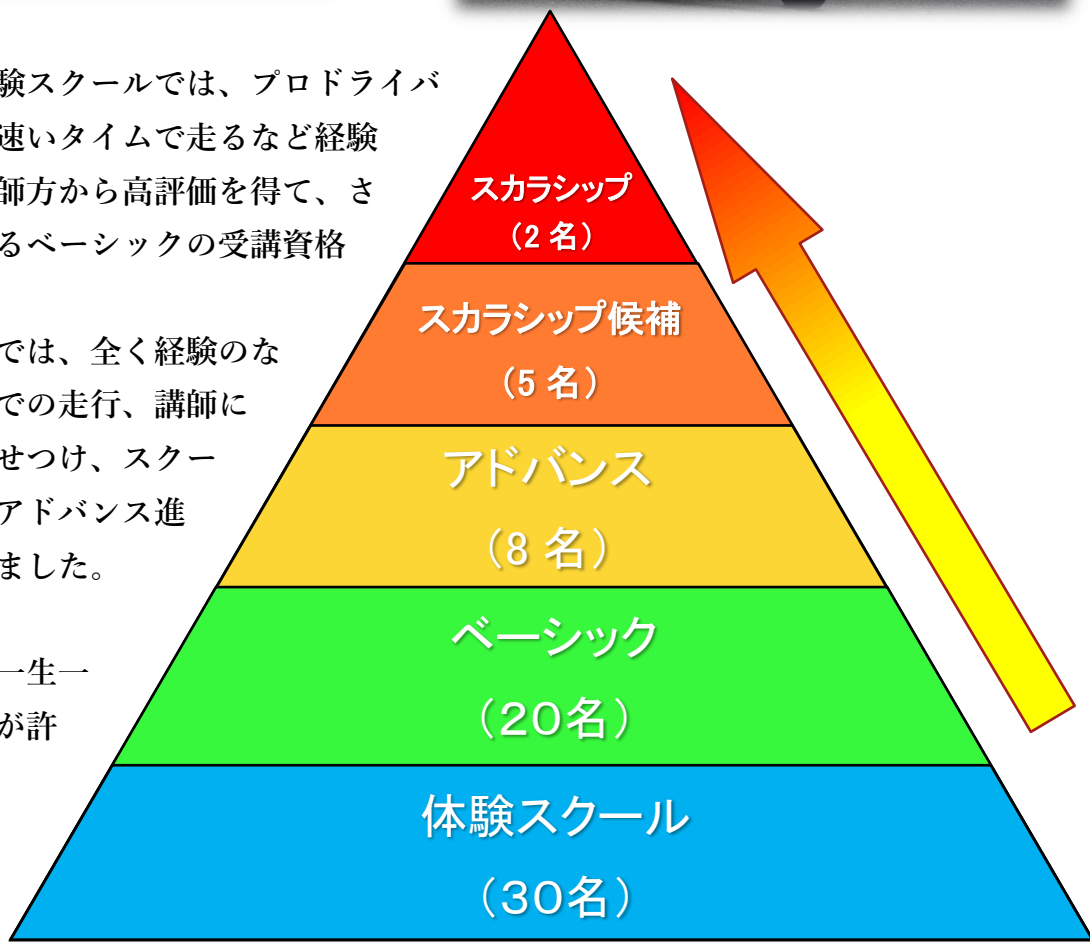
いよいよ 2015 年からは、世界的にも有名な本格的レーシングスクールである SRS-F（鈴鹿サーキットレーシングスクールフォーミュラ）に入校。



第一段階である体験スクールでは、プロドライバーである講師よりも速いタイムで走るなど経験が少ないながらも講師方から高評価を得て、さらに上のクラスであるベーシックの受講資格を獲得。

ベーシッククラスでは、全く経験のないフォーミュラカーでの走行、講師にも劣らない速さを見せつけ、スクールの最終段階であるアドバンス進出者 8 名に選抜されました。

アドバンスからは、一生一度きりのチャレンジが許されます。



その後4月から6月の3ヶ月で行われたアドバンスには、全日本カート選手権チャンピオン、Super-FJチャンピオン、JAF-F4チャンピオン、FIA-F4のポイントリーダーなど、異例のハイレベルなライバルが揃いました。そんな中、レース経験も短く、フォーミュラの経験も全くない中で、遜色ない走りを見せ、アドバンスでの成績優秀者若干名に与えられる、**スカラシップ選考会進出者に選抜**されました。



このスカラシップ選考会は、日本の自動車メーカーであるホンダのドライバー育成システムであるHFDPの一員としてFIA-F4にホンダのサポートを受け参戦する資格を獲得出来るもので、毎年2名が選出されます。



現役プロドライバー 山本尚樹講師

2015年スカラシップ選考会は、近年稀に見るハイレベルな戦いとなっており、フォーミュラ経験の無い私が合格を獲得するのは不可能とさえ言われていました。開始当初、経験豊富な他のドライバーに圧倒され、なかなか速さを見せつけることが出来ませんでした。そんな中、スカラシップ選考会の最終選考レースでは、私には経験の無いヘビーウェット(強い雨)のコンディションの中、現役のF3ドライバーをも押しつけ**念願のトップタイムを樹立**。講師方も異例の事態に驚いていました。

その後、スカラシップ選考の獲得者発表ではこれまでのレース成績全ての評価の合算で三位でした。しかし学校のメカニック代表の方には、「この20年、大滝拓也の様な人は見た事が無かった。」

中嶋悟校長からは、「20年前に学校を卒業しF1ドライバーまで登りつめた、佐藤琢磨以来の成長スピードだ。」と言って頂きました。


中嶋悟校長を始め、講師全員から、**異例の成長スピードと伸びしろが1番**あると認められ、2016年のFIA-F4のシートを用意して頂ける事になったのです。



SRS-F修了式 元F1ドライバー 中嶋悟校長

活動計画・目標





私は、経験が少なく厳しい思いをしてきましたが、立ちはだかる壁をその都度よじ登って来ました。私には全世界のレース界のトップ「F1 チャンピオン」を獲るという大きな目標があります。その目標を胸に妥協を一切許さず走り続けてきました。

このFIA-F4に参戦するにあたって、年間約2500万もの資金が必要になってきます。内、自分で、参戦費650万、他、移動費、宿泊費、練習費含め約1000万必要です。その内の参戦費の650万は、シーズンが始まる2月までに納めなくてはなりません。

「FIA-F4」は自動車レースの最高峰である「F1」への登竜門として位置づけられ、日本で最も盛り上がりを見せている「SUPER GT」と併催されます。

北は宮城県の「スポーツランド SUGO」南は九州の「オートポリス」まで、全国各地を転戦します。観客動員数は“1戦で約10万人”を誇り、“年間14戦”に渡りレースが繰り広げられます。更にBSのJsportsチャンネルにて毎戦テレビ放映もされる程のビッグレースとなっており、Jsportsの視聴登録世帯数は現在650万世帯以上とBSチャンネルの中でも利用者も多く注目されているチャンネルです。

例えるなら、「山形駅の利用者数は1日約10万人、1ヶ月で約300万人」であり、F4のマシン、ヘルメットに広告としてステッカーなどを貼る事は、「山形駅に広告を掲載するよりも、“最大約2倍”近くの人に宣伝することが出来る」為、広告露出効果が大いに期待できます。

そんなFIA-F4参戦30台の中でも、ホンダ以外のチームで結果を出してもその先は無く、現在F1に参戦している「ホンダ」のマシンは私が乗る4台のみとなっており“F1までの道が敷かれているのはホンダから出場するこの4名のみ”なのです。

よってファンの注目、メディアの注目も多く浴びる対象となっており、“表彰台”に上がった際や“インタビュー”でも私の口から「宣伝」します。

“5年後にはF1”この目標を掲げ1年1年結果を残しステップアップし多くの人に夢を与えたいのです。その為にはどうしても皆さん方のサポートが必要です。レベルがどれだけ高かろうが、結果を残す確信があります。どうかサポート・支援お願い申し上げます。

2016 FIA-F4 年間カレンダー

(BS Jsports で放映)

日程	競技	開催場所
4/8 (金) ~10 (日)	2016 FIA-F4 第1, 2戦	岡山国際サーキット (岡山県)
5/2 (月) ~4 (水)	2016 FIA-F4 第3, 4戦	富士スピードウェイ (静岡県)
5/20 (金) ~22 (日)	2016 FIA-F4 第5, 6戦	オートポリス (大分県)
7/22 (金) ~24 (日)	2016 FIA-F4 第7, 8戦	スポーツランド SUGO (宮城県)
8/5 (金) ~7 (日)	2016 FIA-F4 第9, 10戦	富士スピードウェイ (静岡県)
8/26 (金) ~28 (日)	2016 FIA-F4 第11, 12戦	鈴鹿サーキット (三重県)
11/11 (金) ~13 (日)	2016 FIA-F4 第13, 14戦	ツインリンクもてぎ (栃木県)

平成28年2月2日
山形大学

1. やまがた地域社会研究所による地方創生セミナーの開催について

以下の内容で行いますので、取材方、よろしく申し上げます。

◇日時：2月10日（水）16:30～

◇場所：山形大学人文学部1号館2階25演習室

◇演題：「地方創生～しごとづくり、ひとづくりの現場から～」

◇講師：遠藤憲子氏（東北経済産業局地域経済部産業支援課長）

詳細は別紙通知をご覧ください。

2. 講演会「恋する人文学」の開催について

以下の内容で行いますので、取材方、よろしく申し上げます。

◇日時：2月6日（土）15:00-17:00

◇場所：人文学部205教室（事前予約不要）

◇内容：いつの世も人の関心を引かずにはいない「恋愛」をめぐって、人文学は何を語ってきたか？ 今後、何を語るができるのか？ 文学・哲学を中心に研究者と出版人が本音のトーク・バトルを繰り広げます。

詳細は別紙通知をご覧ください。

3. 山形大学認定「産学金連携コーディネーター」認定証授与式を行います

以下の内容で行いますので、取材方、よろしく申し上げます。

◇日時：2月12日（金）13:30-14:30

◇場所：山形大学小白川キャンパス事務局第一会議室

◇認定証授与者：新規認定者49名、シニアコーディネーター認定者13名、更新認定者161名（計223名）

詳細は別紙通知をご覧ください。

以上

平成 28 年 2 月 2 日
山 形 大 学

やまがた地域社会研究所による地方創生セミナーの開催について

2月10日(水)の16:30より、東北経済産業局地域経済部 産業支援課長 / 産業人材政策室長 遠藤憲子氏をお招きして地方創生のこれからについて理解を深めるためのセミナーを開催します。

人文学部担当の教員は、山形県の13の自治体で地方創生の人口ビジョン・総合戦略の作成に携わってきましたが、人口ビジョンや総合戦略の作成について一段落つきたいま、地方創生のこれからについて理解を深めるためのセミナーを以下のとおり開催することにしました。

演題：「地方創生～しごとづくり，ひとづくりの現場から～」

講師：遠 藤 憲 子 氏

(東北経済産業局地域経済部 産業支援課長 / 産業人材政策室長)

日時：2月10日(水) 16時30分～

場所：山形大学人文学部1号館2階 25演習室

地方創生が今後どのように展開するのか，展開するべきなのかといった点について関心のある市民や自治体関係者にも参加していただき，一緒に理解を深め，議論をしていきたいと思っておりますので，奮ってご参加ください。

人文学部附属やまがた地域社会研究所所長
学術研究院(人文学部担当)教授

國 方 敬 司

023-628-4268

(参加申込み)

山形大学人文学部事務室

023-628-4204

平成28年2月2日
山形大学

講演会「恋する人文学」の開催について

いつの世も人の関心を引かずにはいない「恋愛」をめぐって、人文学は何を語ってきたか？ 今後、何を語ることができるのか？ 文学・哲学を中心に研究者と出版人が本音のトーク・バトルを繰り広げます。

当日は立正大学講師・伊澤高志先生から「恋するシェイクスピア」と題する講演で、シェイクスピアにおける恋愛を解説します。誰もが知る古典『ロミオとジュリエット』に「男どうしの恋愛」が描かれているとしたら皆さんどう思いますか？

続いて本学講師、柿並良佑×合田陽祐によるトークセッション「恋愛を哲学する」では、「恋愛」というキーワードを通じて哲学・文学とは何かを語ります。古代から現代にいたる人文学のから様々な恋愛の姿が浮かび上がります。

最後の座談会「恋する人文学」では以上3名の研究者に加え、先ごろ「恋愛論」を特集した雑誌『ニユクス』の編集者小林えみ氏（堀之内出版）を迎え、恋愛から人文系出版の現在を読み解きます。

（お問合せ先）
学術研究院（人文学部担当）
講師 柿並良佑
電話023-628-4862

山形大学人文学部講演会

日時 2016年2月6日(土)

15時～17時

場所 山形大学人文学部棟 205 教室

事前予約不要

Nyx

ニュクス

思想誌『nyx』2号第2特集「恋愛論」より

恋する人文学——哲学・文学・恋愛

世界がどうあろうと、私たちは恋をする。

古来、人は恋に生き、恋に悩み、恋の歌を詠み、恋の物語を編み続けてきた。恋する者は一方で、相手の存在を渴望して、自分のものにしようと欲する。恋人達は、困難や障害に打ち克ってでも、いやまさに障害のゆえに、ますますいっそうお互いの合一化を望む。また他方で恋する者は、その愛のために相手を傷つけ、責め苛み、苦しめようとする。そうした恋愛感情のもつれは、ときにストーカーや殺人にまでおよんでしまう。恋の喜びは、灰色の日常生活を色づかせ、失恋の悲しみは、世界をひとつ失うことと同じほどの絶望を抱かせる。恋愛の喜びと苦しみは、洋の東西、時代の古き新しきを問わず、人間にとって普遍的な感情のように思われる。それがあたかも人生の最重要事であるかのように。

しかし、それは本当だろうか。

講演 「恋するシェイクスピア」 伊澤高志

『nyx』2号掲載「愛し合う身体と言葉のゆくえ——『ロミオとジュリエット』における愛、性、結婚」
に関してなど、シェイクスピアにおける恋愛を解説します。

トークセッション 「恋愛を哲学する」 柿並良佑 × 合田陽祐

哲学は恋愛を語り得るのか。
「恋愛」というキーワードを通じて哲学とは何かを語ります。

座談会「恋する人文学」伊澤高志 × 柿並良佑 × 合田陽祐 司会：小林えみ（堀之内出版）

人文学は危機にあるという。
しかし、様々な形で語り継がれ、多くの人が関心を寄せる「恋愛」が人文学を復興させる糸口となる？
学問・出版等様々な角度からの「人文学」を「恋愛」から読み解きます。

登壇者紹介

伊澤高志（いざわたかし）

一九七八年生まれ。立正大学文学部文学部講師。専攻はイギリス文学。論文に「旅する恋人たち——『ロミオとジュリエット』翻案試論」（『文学部論叢』一三七号、二〇一四年）等。共著に『十七世紀英文学と戦争』（金星堂、二〇〇六年）、共訳にドリーン・マッシー『空間のために』（月曜社、二〇一四年）等。

柿並良佑（かきなみりょうすけ）

一九八〇年生まれ。山形大学人文学部専任講師。専攻は現代フランス哲学・表象文化論。論文に「哲学の再描——デリダ/ナンシー消え去る線を描いて」（『思想』岩波書店、二〇一四年第一二号）等。共訳に、ルイ・サラ＝モラン『ソドム——法哲学への銘』（月曜社、二〇一〇年）等。

合田陽祐（ごうだようすけ）

一九七七年生まれ。山形大学人文学部専任講師。専攻はフランス文学・芸術。論文に「アルフレッド・ジャリの「脳だし機械」の理論モデルの進化について」（『フランス語フランス文学研究』一〇四号、二〇一四年）等。共著に『アルフレッド・ジャリ、自筆草稿からタイポグラフィまで』（デュ・レロ出版、二〇一四年）等。

【主催】山形大学人文学部

【お問い合わせ先】 mail:kakinami@human.kj.yamagata-u.ac.jp

平成28年2月2日
山形大学

山形大学認定「産学金連携コーディネーター」認定証授与式 ～金融マンコーディネーター今年度も大幅増、 山形県信用保証協会からも初めてのコーディネーター誕生～

山形大学では、平成19年度より金融機関職員の目利き人材育成のため、実践型研修カリキュラムを構築した「産学金連携コーディネーター研修」を実施し、条件を満たした受講者を「山形大学産学金連携コーディネーター」として認定しています。この度、新たに49名の新規コーディネーター、13名のシニアコーディネーターが誕生し、2月12日に認定証授与式を行います。

山形大学では、平成19年より金融機関職員を対象とした「産学金連携コーディネーター研修」を実施し、条件を満たした受講者には、「山形大学産学金連携コーディネーター」として認定しています。

今年度も県内金融機関から58名の受講者があり、うち条件を満たした49名が新たに本認定を受けます。これで、本コーディネーターは、全国でも最大規模の総計223名となる予定です。昨年連携協定を締結しました山形県信用保証協会からも初めてのコーディネーターが誕生します。

また、既認定者を対象とした「スキルアップ研修」を開講しており、新たに13名を「山形大学産学金連携シニアコーディネーター」として認定します。

認定者は所属する金融機関があるエリアにて企業の技術・経営等の課題解決支援にあたることとなります。今年度も認定されたコーディネーターが年間約2000件の相談に対応しています。

山形大学では、今後も県内各金融機関との連携を強化し、このような地域イノベーションの一層の創出を図っていきます。

<お知らせ>

■■■ 平成27年度「産学金連携コーディネーター」認定証授与式 ■■■

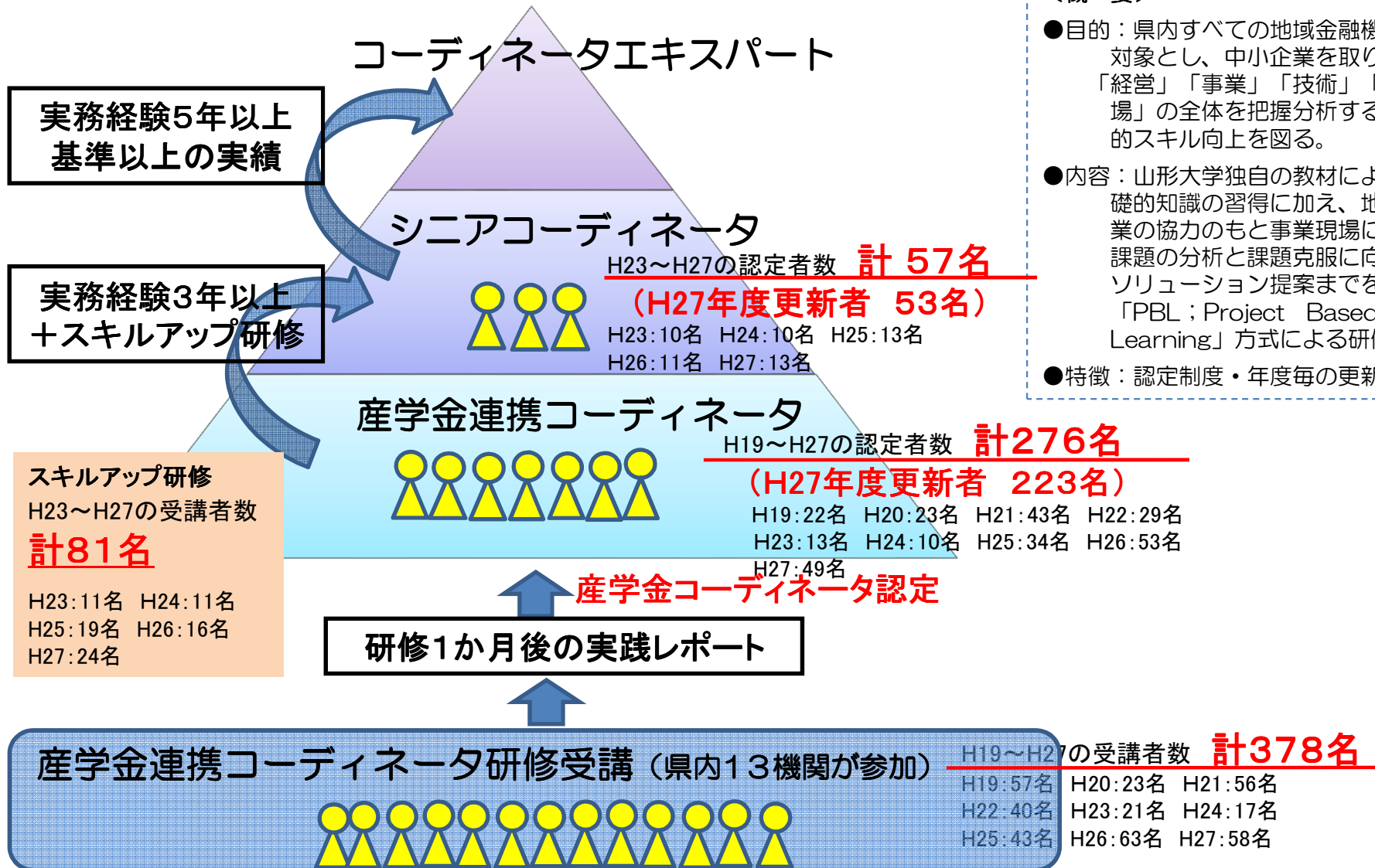
1. 日時：平成28年2月12日（金）13時30分～14時30分
2. 場所：山形大学小白川キャンパス 事務局棟3F 第一会議室
3. 認定証授与者：
 - ・新規認定者49名、シニアコーディネーター認定者13名、更新認定者161名
(計223名)
4. 授与式の概要：別紙次第のとおり

(お問合せ先)
山形大学国際事業化研究センター
(山形大学工学部米沢街中サテライト)
副センター長 小野 浩幸
事務局 鈴木、高屋、武田、浦安
TEL：0238 - 26 - 0764

山形大学認定産学金連携コーディネータ制度

<概要>

- 目的：県内すべての地域金融機関を対象とし、中小企業を取り巻く「経営」「事業」「技術」「市場」の全体を把握分析する実践的スキル向上を図る。
- 内容：山形大学独自の教材による基礎的知識の習得に加え、地域企業の協力のもと事業現場に赴き課題の分析と課題克服に向けたソリューション提案までを行う「PBL；Project Based Learning」方式による研修制度
- 特徴：認定制度・年度毎の更新制度



※平成28年1月現在

山形大学認定「産学金連携コーディネーター」 平成27年度 認定証授与式次第

1. 日時 平成28年2月12日（金）13時30分～14時30分

2. 場所 山形大学小白川キャンパス 事務局3階第一会議室

3. 式次第

《 第1部 》 産学金連携コーディネーター認定書授与式

13:30 開会の挨拶

山形大学長 小山 清人

13:35 産学金連携コーディネーター制度趣旨説明

山形大学学術研究院（理工学研究科） 教授 小野 浩幸

13:45 来賓紹介・ご挨拶（※来賓機関は下記参照）

14:00 認定証授与（新規認定者並びに更新者）

14:20 認定証授与（シニアコーディネーター認定者）

14:30 認定者記念写真撮影

《 第2部 》 支援事例発表、記念講演

14:45 支援事例発表

- ・更新コーディネーター 1名
- ・スキルアップ研修優秀者 3名

16:15 記念講演

『2045年の地域金融：米沢モデルが世界のフロントランナーになる』
慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科
特別招聘教授 保井 俊之 氏

17:30 閉会の挨拶

* 第2部の支援事例は非公開となります。

以上

※出席来賓機関（予定）

東北財務局山形財務事務所、東北経済産業局次世代産業室、
山形県議会商工労働常任委員会、山形県商工労働観光部、山形県企業振興公社、
山形県信用保証協会、株式会社荘内銀行、株式会社山形銀行、株式会社きらやか銀行、
山形信用金庫、米沢信用金庫、鶴岡信用金庫、新庄信用金庫、北郡信用組合、
山形中央信用組合、山形第一信用組合、日本政策金融公庫米沢支店、商工組合中央金庫山形支店